

第3期東浦町国民健康保険データヘルス計画 概要版

2024年度（令和6年度）～2029年度（令和11年度）

計画策定の背景

2013年に閣議決定された「日本再興戦略」において、国民の健康寿命の延伸のための予防・健康管理の推進に資する新たな仕組みづくりとして、健康保険組合によるデータヘルス計画の作成、公表、事業実施、評価等の取組が求められることとなりました。2014年には「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」の一部改正等が行われ、保険者は健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った保健事業を実施するためのデータヘルス計画を策定し、保健事業の実施・評価・改善等を行うこととなりました。

これらの経緯を踏まえ、本町は、2016年3月に、第1期東浦町国民健康保険データヘルス計画（以下「第1期計画」という）を策定し、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進や疾病の重症化予防などに取り組みました。2018年3月に、第1期計画の効果検証を踏まえた東浦町国民健康保険データヘルス計画第2期（以下「第2期計画」という）を策定し、保有するデータを活用しながら、更なる被保険者の健康の保持増進及び医療費の削減を目指しました。

2018年4月に、都道府県が財政運営の責任主体としての共同保険者となり、また、2020年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020（骨太方針2020）」により、データヘルス計画の標準化が推進され、2022年12月の経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画改革工程表2022」において、データヘルス計画の進展のため、保険者共通の評価指標の設定を推進することが示されました。

今般、第3期東浦町国民健康保険データヘルス計画（以下「第3期計画」という）は、被保険者の健康増進を目的に、第2期計画の効果検証を踏まえつつ、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、愛知県により設定された共通評価指標と標準化された様式を使用し策定しました。

計画の期間と評価

2024年度から2029年度を計画期間とし、毎年度、個別の保健事業ごとの評価指標に基づき、事業の効果や指標の達成状況を確認します。指標の達成状況が想定に達していない場合は、プロセスやストラクチャーが適切であったかを確認し、進捗状況を管理します。

最終年度（2029年度）には計画全体の評価を行い、次期計画の策定に結果を反映させます。

計画全体の目的

生活習慣病の発症及び重症化予防を図り、医療費適正化を目指します

健康課題

A 【がん検診受診率の向上】

- ・ 疾病大分類別1人当たりの医療費は「新生物」が入院・入院外共に高く、いずれも県より高い状況です。
- ・ 主要がん1人当たりの医療費は「大腸がん」「肺がん」が高いです。
- ・ 2020年度のがん検診受診率が県よりも低い「大腸がん」「子宮頸がん」は、2021年度以降の医療費も県より高い傾向にあります。

B 【若年層の特定健診受診率の向上】

- ・ 特定健診受診率は県より高い水準で推移していますが、経年的に見ると減少しています。
- ・ 40歳から44歳の男女、50歳から54歳の男性の受診率は、国や県の水準より低い状況です。

C 【重症化する恐れのある糖尿病性腎症者に対する受診への意識付け】

- ・ 糖尿病性腎症3期及び糖尿病性腎症2期以下の「治療無し」の人数の推移は、経年的に増加しています。
- ・ 糖尿病性腎症4期及び腎症3期の割合は、県よりも高い状況です。

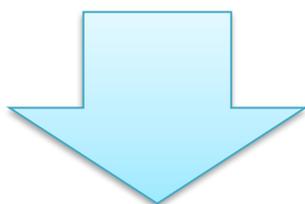
D 【特定保健指導の強化】

- ・ 「血圧」「HbA1c」「LDL コレステロール」の値において、受診勧奨値以上ですが未受診者が男女共に存在します。

- ・ 2021 年度において、メタボ該当者割合は、男性では 40 歳から 44 歳、女性では 45 歳から 49 歳で県より著しく高くなっています。
- ・ 女性はメタボ該当者割合及びメタボ予備群割合ともに、経年的に県より高い傾向で推移しています。
- ・ 標準的な質問票において、「20 歳時体重から 10 kg 以上増加」していると答えた者は、2022 年度において 37.8%であり、経年的に県よりも高い傾向で増加しています。

E 【若年層からの骨づくり及び高齢者の転倒予防】

- ・ 骨折につながる「骨の密度及び構造の障害」の 1 人当たりの医療費は、入院及び入院外共に 60 歳から急激に増加しています。



計画全体の目標		計画全体の評価指標	指標の定義	計画策定時実績	目標値						
				2022 (R4)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	
i	平均自立期間を延伸する。	平均自立期間	要介護 2 以上	(男性) 79.9歳 (女性) 83.7歳							2029年度 (R11) の県平均と同値
ii	保健事業の効果及び医療費適正化を評価する。	1 人当たり医療費	被保険者 1 人当たり医療費	26,513円			2022年度 (R4) 実績より減少				2026年度 (R8) 実績より減少
iii	生活習慣病の重症化を予防する。	新規透析導入患者数 (人口10万人当たり人数)	人口10万人当たりの新規透析導入患者	23人			2022年度 (R4) 実績より減少				2026年度 (R8) 実績より減少
iv	生活習慣病の発症を予防する。	糖尿病有病者割合	糖尿病の有病者数 (人) / 被保険者数 (人)	12.1%	12.0%	12.0%	11.9%	11.8%	11.7%	11.6%	
v	生活習慣病の発症を予防する。	高血圧症有病者割合	高血圧症の有病者数 (人) / 被保険者数 (人)	22.2%	22.0%	21.8%	21.6%	21.4%	21.2%	21.0%	
vi	生活習慣病の発症を予防する。	脂質異常症有病者割合	脂質異常症の有病者数 (人) / 被保険者数 (人)	19.0%	18.8%	18.6%	18.4%	18.2%	18.0%	18.0%	

保健事業・指標

重点
事業

1 特定健診受診勧奨事業 . . . 特定健診受診勧奨を実施します。

<目的> 特定健診の受診率を向上させ、高齢世代の疾病の予防や早期治療につなげます。

目標項目	評価指標	現状 (2022年度)	中間目標 (2026年度)	最終目標 (2029年度)
アウトカム指標	メタボリックシンドローム該当者割合	22.8%	21.7%	21.0%
	メタボリックシンドローム予備群者割合	12.2%	11.6%	11.0%
アウトプット指標	特定健診実施率	50.4%	56.0%	60.0%
	特定健診受診者数	3,342人	3,713人	3,978人

重点
事業

2 特定保健指導実施勧奨事業 . . . 特定保健指導を実施します。

<目的> メタボリックシンドロームに着目した指導を行い、糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病の予防を図ります。

目標項目	評価指標	現状 (2022年度)	中間目標 (2026年度)	最終目標 (2029年度)
アウトカム指標	特定保健指導による特定保健指導者の減少率	23.0%	26.0%	29.0%
	特定保健指導対象者減少率	20.1%	24.0%	30.0%
アウトプット指標	特定保健指導実施率	67.7%	68.5%	69.0%
	特定保健指導実施者数	226人	229人	230人

3 がん検診受診勧奨事業 . . . がん検診受診勧奨を実施します。

<目的> がん検診の受診を促し、がんの早期発見、早期治療につなげます。

目標項目	評価指標	現状 (2022年度)	中間目標 (2026年度)	最終目標 (2029年度)
アウトカム指標	胃がん精密検査受診率	77.8%	84.0%	90.0%
	肺がん精密検査受診率	89.7%	94.0%	100%
	大腸がん精密検査受診率	71.5%	81.0%	90.0%
	乳がん精密検査受診率	88.2%	92.0%	95.0%
	子宮頸がん精密検査受診率	88.2%	94.0%	100%
アウトプット指標	胃がん受診率	4.8%	50%以上	60%以上
	肺がん受診率	14.5%	50%以上	60%以上
	大腸がん受診率	7.0%	50%以上	60%以上
	乳がん受診率	8.0%	50%以上	60%以上
	子宮頸がん受診率	7.2%	50%以上	60%以上
	前立腺がん受診率	8.4%	50%以上	60%以上

保健事業・指標

4 糖尿病性腎症重症化予防事業 ……糖尿病の重症化を予防し、新規透析導入患者を減少させます。

<概要>糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関の未受診・受診中断者について、関係機関からの適切な受診勧奨・保健指導を行うことにより治療に結びつけます。

目標項目	評価指標	現状 (2022年度)	中間目標 (2026年度)	最終目標 (2029年度)
アウトカム指標	受診勧奨後の医療受診率	63.0%	70.0%	85.0%
	保健指導事業参加者の検査値の変化	31.6%	40.0%	50.0%
	HbA1c8.0%以上の者の割合	2.0%	2.0%	1.0%
	HbA1c6.5%以上の者の割合	12.5%	10.0%	8.0%
アウトプット指標	受診勧奨の必要な者のうち受診勧奨を実施した率	58.0%	90.0%	100%
	保健指導事業参加者とその割合	58.0%	90.0%	100%

5 ジェネリック医薬品利用差額通知事業 ……ジェネリック医薬品への切り替えを促します。

<概要>ジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担軽減額を記載し、未利用者に通知します。

目標項目	評価指標	現状 (2022年度)	中間目標 (2026年度)	最終目標 (2029年度)
アウトカム指標	後発医薬品利用率	80.0%	80.3%	80.6%
アウトプット指標	差額通知発送回数	2回	2回	2回

6 重複・頻回受診、重複服薬訪問指導事業 ……健康増進及び医療費の適正化を図ります。

<概要>対象者の自宅を訪問し、健康状態や生活状況を把握するとともに、健康相談や適正受診・服薬指導を実施します。

目標項目	評価指標	現状 (2022年度)	中間目標 (2026年度)	最終目標 (2029年度)
アウトカム指標	対象者の重複・多剤投与等の改善状況	14.3%	28.6%	50.0%
	被保険者全体での重複・多剤投与等の率	0.81%	0.81%	0.75%
アウトプット指標	重複・多剤投与等の者への通知率	100%	100%	100%
	指導等への参加率	28.6%	42.0%	50.0%

保健事業・指標

7 健康づくり教室開催事業 ……被保険者の健康に対する意識を高め、予防行動につなげます。

<概要>運動を中心とした生活習慣を見直し、生活習慣病を予防する各種健康づくり教室を開催します。

目標項目	評価指標	現状 (2022年度)	中間目標 (2026年度)	最終目標 (2029年度)
アウトカム指標	教室参加後で腹囲が2cm減少した人の割合	52.6%	70.0%	80.0%
アウトプット指標	教室参加人数(延人数)	157人	定員数	定員数

8 骨折予防事業 ……住民の骨折予防に対する意識醸成を促します。

<概要>転倒予防のための運動、骨を強くする食生活の改善等の住民啓発事業を実施します。

目標項目	評価指標	現状 (2022年度)	中間目標 (2026年度)	最終目標 (2029年度)
アウトカム指標	生活習慣を見直そうと思う者の割合	—	60.0%	70.0%
アウトプット指標	講座の参加人数(延人数)	61人	定員数	定員数

第4期東浦町国民健康保険特定健康診査等実施計画

第4期東浦町国民健康保険特定健康診査等実施計画は、保健事業の中核をなす特定健診及び特定保健指導の具体的な実施方法を定めるものであることから、本計画の中に取り込み、保健事業を一体的に推進していきます。

発行 東浦町 令和6年3月

編集 東浦町 健康福祉部 保険医療課 健康課